



パートナー通信安曇野 第8号

2009.11.19

発行: NPO 法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部
 安曇野市穂高柏原 1132-2 (有) ライフポート安曇野内
 TEL : 0263-81-1325
 URL : <http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino>

編集: 木船



みみより情報①

当 NPO の特選カレンダーあります！ パートナー限定、先着 30 部のみ。

「ふるさとづくり応援団」(以下、「応援団」) 会員で写真家の鈴木研一氏が撮りためた安曇野の風景。その中から厳選したとっておきの 12 枚をあしらい、他にない素晴らしいカレンダーが出来

上がりました。山並、水鏡、農、人々、町並み等々、そこに切り取られた安曇野は、時に叙情的であり、また時には記録写真の様でもあり。まぎれもなく、次代に残したい安曇野が綴られてい

ます。パートナー限定の 30 部のみで、1 部 1,500 円での販売となります。ご注文は「応援団」安曇野支部まで。詳しくは別紙案内をご参照ください。

みみより情報② 当 NPO が協力参加する催し一覧。

イベント名	日時	場所	内容
全国めかくどサミット in 安曇野 (別紙参照)	11月23日(月) 9:00~12:00	安曇野スイス村 サンモリッツ	「めかくど」で炊いたおいしいご飯を食べて、お米の大切さを見直すイベント。
キャンドルナイト in 安曇野	12月19日(土) 17:00~(予定)	県立こども病院	電気を消して、キャンドルに火を灯そう。省エネについて考えるもよし、平和について考えるもよし。詳しくは「キャンドルナイト in 安曇野」のホームページをご覧ください(「応援団」のホームページからもリンク)。
同上	12月22日(火) 同上	穂高学習交流センター「みらい」	
同上	12月23日(水) 同上	国営アルプスあづみの公園	
地域討論会 「田舎暮らし、付き合い方は？」 (別紙参照)	11月23日(月) 12:30~16:30	池田町創造館	信州の魅力、地域の問題、日頃の悩みなど「みんなの田舎暮らし」について話し合う催し。「応援団」の会員も、全体会及び分科会講師として参加協力します。

報告① 第7回「ふるさとウォッチング in 安曇野」を明科地区で開催しました。

明科事件はあっという間に「大逆事件」に展開した。いわれなき罪で処刑された幸徳秋水の絶筆が残る明科公民館。



去る10月25日、水郷明科において第7回ふるさとウォッチング in 安曇野を開催しました。とっておきの明科を見て、感じて、学ぶルートで、参加者は約90名。ざっと紹介すると、①気さくな和尚様が明科の歴史について説いてくれた竜門寺。ここは皆さんのアンケートでの人気第一位でした。②古の風

情が残る町場の小道を抜け、③銘酒「廣田泉」蔵元の明科酒造の土蔵に触れ、④平安時代創建ともいわれる潮神明宮、⑤3,000本ものケヤキ並木を残す篠ノ井線の

廃線敷跡で三五山トンネルをちょっと見(廃線敷跡の人気も同率で第一位でした)。⑥物流拠点として栄えた頃の面影をかすかに残す旧木戸橋の通船跡地を經由し、⑦潮の水田地帯を石仏と山を鑑賞しながら抜け、⑧あやめ公園、⑨信州サーモン生誕の地、長野県水産試験場本場ときて、⑩幸徳秋水の絶筆と明科廃寺の資料が白眉



の明科公民館(三番人気)に至るといって、「いっぱいいっぱい」のコース。これまでのウォッチングの中でも最上級



1504年開基の曹洞宗松声山竜門寺。教育委員も務めたことのある現住職による当山は、庶民のために開かれた、敷居の低いお寺。

コースと言ってよいものでした。事前に

3回もシミュレーションをしたにもかかわらず、主催側にとっても予想以上にタイトな行程となりました。「へとへと」になった参加者の方にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。ごめんなさい。

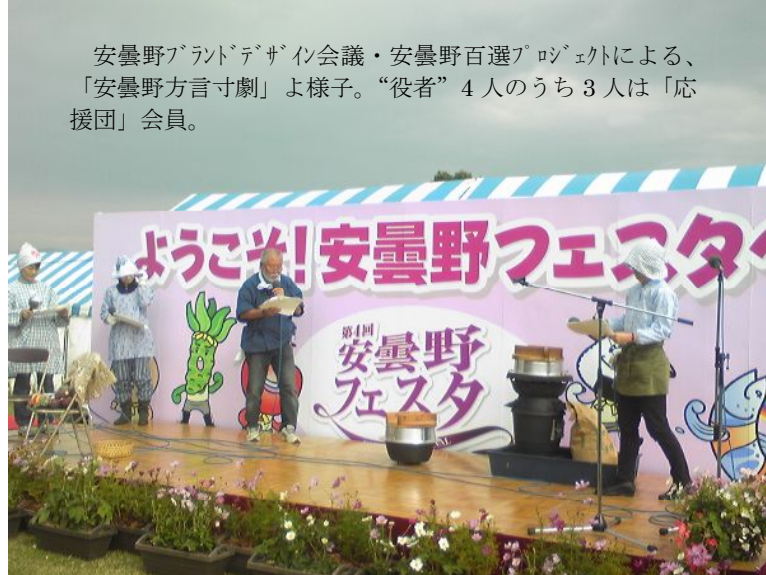
昼食のぬかくどご飯には、安曇野の

特産黒豆「信濃黒」を混ぜ込み、信州サーモンコンテストで優勝した茂山英根さんが調理した、和中華テイストの絶妙な取り合いの「信州サーモンのマリネ“ウォッチング風”」を添えました。薄曇りという暑くも寒くもない絶好の天候のおかげも相まって、ぬかくどタイムの

あやめ公園は、心なしいつもよりのんびりとくつろいでいる方が多いように見受けられたウォッチング終盤でした。

今回新たに11名の方がパートナーになっていただき、総勢94名の大所帯となりつつあります。ご登録いただいた皆さん、ありがとうございました。

報告② 「第4回安曇野フェスタ」に参加、協力しました。



安曇野ブランドデザイン会議・安曇野百選プロジェクトによる、「安曇野方言寸劇」の様子。「役者」4人のうち3人は「応援団」会員。

国営アルプスあづみの公園を会場として10月14日に大々的に開催された「安曇野フェスタ」。旧家「山口家」見学を含むミニウォッチングや、ニジマス

ばる事業者や地元農業高校などによる露店の数々や、市民グループ「安曇野ブランドデザイン会議」による各種ステージものなど、この日一日で7～



1時間ほどかけて、かつての大庄屋・山口家の見学を含む会場周辺のウォーキングを行う。松本城主を魅了して止まなかった当家の庭園は、何度見てもすばらしい。案内はやはり「応援団」から、左とは別の3人が行った。

つかみ採り、8,000人が訪れました。「応援団」も理事長・等々力秀和の顔の広さからパネル展示やウォーキングに協力し、主催者(実行委員会)と一体となって祭りを盛上げました。

報告③ 「第2回安曇野環境フェア」に参加、協力しました。

「安曇野環境フェア2009」は、安曇野の豊かな自然や環境の保全について考えるきっかけになればとの思いから、設立されたばかりの市民グループ「安曇野環境ネットワーク」が主体となって催した、体験し、そして考える



して不可欠の屋敷林をどう保存するか、または屋敷林とはそもそも何ぞや、について考察する「屋敷林サミット in 安曇野」や、女優・浜美枝氏の講演「農と食と暮らし…今、私たちにできること」、そして60を超える諸団体のブース展示発表など濃密な2日間でした。「応援団」も、ブース展示やぬかくどご飯の提供等、陰に陽に大いに汗をかいた2日間でした。



イベント。11月7、8日の2日間で1,000人ほどの来場がありました。具体的には、安曇野の風景を構成する要素と



↑「屋敷林サミット」には、富山県礪波市と東京都武蔵野市からも専門家を招いて熱い議論が交わされた。「応援団」理事長、等々力秀和がパネルディスカッションのコーディネーターを務める。

→「応援団」のブース。どの会員も忙しくブースの留守番ができない。

*今回は会員の「リレーコラム」と会員紹介の「はじめまして」は休みました。